

ボクのワタシの 学校自慢

- Vol.2 -

足立区立西新井中学校 第二弾

『ボクのワタシの学校自慢』では、鹿浜地域学習センター近隣中学校の生徒の皆様から伺った、学校自慢をご紹介します。5月号は西新井中学校合唱コンクールを取材しました。地域の方にも中学校の活動を知ってもらい、もっと身近に感じてもらいたいと思っています。

西新井中学校の合唱コンクール

3年ぶりの開催

新型コロナウイルス感染症対策のため、中学校でも多くの行事が開催できずにいました。しかし感染症対策緩和に伴い、西新井中学校では3年ぶりの合唱コンクールが3月に開催されました。

3年生は3/10（金）に西新井中学校体育館で、1年生・2年生は3/16（木）に西新井文化ホールで歌声を披露しました。

3年ぶりに響いた生徒たちの歌声に、先生方も生徒の保護者の皆様も感無量な様子でした。



▲合唱の様子（西新井中学校体育館）

クラスの集大成

どの学年にとっても初めての合唱コンクールは、卒業やクラス替えを控えた生徒たちにとっては、1年間の集大成を披露する場でもあり、練習から非常に熱が入っていたそうです。中には真剣に取り組むあまり意見の食い違いが出るクラスもありました。クラス担任を受けもつ先生方が、毎日職員室で相談していたそうです。

合唱が音楽の授業でできるようになったのも12月からだったため、どのクラスも練習期間が短かったのですが、それを感じさせない素晴らしい歌声でした。



▲合唱の様子（西新井文化ホール）

来年につながる一歩

3年ぶりの合唱コンクールについて、2年生副担任であり、音楽科教師の宇野浩之先生からコメントをいただきました。

音楽科はコロナの影響が強い教科でした。しばらくは鑑賞と創作が中心の授業で、今年度からマスクを着用し間隔をあけて歌唱の授業を行っていました。合唱ができるようになったのは12月からでした。

長い間表現をする機会がなかった生徒たちが、やっとその機会に恵まれ来年につながる一歩になったと思います。



▲音楽科担当 宇野浩之先生

3年生から1・2年生へ



▲3年生の発表を鑑賞する1・2年生

3/10（金）に開催された3年生のみの合唱コンクール後、それぞれ合唱を練習していた1年生・2年生が体育館に集められ、3年生の学年合唱曲「大地讃頌」が披露されました。

宇野先生曰く、「中学生で完成するのはやはり3年生になってから。体ができてきて、声は大人の声になる。3年生の歌声を聞くことで1・2年生の目標になる」とのこと。

同じ体育館内に全学年が集合するのも3年ぶりとのことでした。

西新井中学校紹介

<創立>昭和50年4月

<学校像>生きる力を身に付け、自立し社会に貢献できる人材を育む学校

<生徒像>夢や目標に向かい、自分で考え判断し、表現、行動できる生徒



▲西新井中学校外観

次回予告

6月号で足立区立西新井中学校の『ボクのワタシの学校自慢』は最終回です！